

## 学校評価アンケート結果まとめ<令和6年度・第1回実施分>

### ◎生徒への質問

	質問内容
1	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができた。
2	授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。
3	授業でi タブを活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりすることができた。
4	自分は、家で自分で計画を立てて勉強している。
5	自分は、学校の授業以外で、普段（月曜日から金曜日）1日あたり30分以上読書している。
6	自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。
7	学校・学年・学級はいじめの未然防止を行っている。
8	道徳の授業では、人間の在り方や人生をよりよく生きることなどについて考えを深めている。
9	自分は、行事に積極的に取り組んでいる。
10	自分は、学校や地域をよくするために何かしてみたいと思う。
11	自分は、学校生活の約束事を守っている。
12	自分は、給食等を通して健康的な食生活や栄養について関心が高まっている。
13	自分の学級では、学級生活をよりよくするために、の意見の良さを生かして解決方法を考えている。
14	自分は、家庭でのインターネット閲覧や、SNS等に費やす時間は、1日あたり3時間以内である。
15	自分は、進路について考えている。
16	学校は、アルカス活動やボランティア活動が行われ、地域に貢献している。
17	自分は、災害時の対応を考えている。

### ◎保護者への質問

	質問内容
1	生徒は、学校生活に楽しみややりがいを持っている。
2	生徒は、授業などでi タブ（1人1台端末）等のICT機器を活用している。
3	生徒は、自ら学習に取り組んでいる。
4	生徒は、授業に複数の先生がいることで、質問しやすくなっている。
5	生徒は、あいさつや礼儀をきちんとしている。
6	生徒は、福祉教育活動（花植え作業や除草作業、奉仕活動等）に進んで取り組んでいる。
7	生徒は、行事において達成感や自己有用感を高めることができている。
8	学校は、生徒に悩みがあったとき、問題が起きたときに相談しやすい。
9	学校は、いじめの未然防止の取り組みを行い、いじめが発生したときは速やかに対応している。
10	学校は、当たり前のことが当たり前できるように、生徒指導を行っている。
11	学校は、学級での話し合いや係活動の活性化を図り、生徒間の望ましい人間関係の育成に努めている。
12	学校は、学校給食を基本とした食育を推進し、食の大切さを理解させている。
13	学校は、計画的に進路指導を行っている。
14	学校は、防災教育を推進し、生徒の防災意識の向上を図っている。

※回答は「そう思う」「おおよそそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択式。

本集計では便宜上、「そう思う」→「肯定的」

「おおよそそう思う」→「やや肯定的」

「あまりそう思わない」→「やや要改善」

「そう思わない」→「要改善」

と表記する。

生徒回答合計（182）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	45.1%	50.5%	2.7%	1.6%
Q2	49.2%	44.2%	6.6%	0.0%
Q3	55.5%	39.0%	3.8%	1.6%
Q4	23.0%	38.3%	24.0%	14.8%
Q5	15.3%	16.9%	23.5%	44.3%
Q6	35.9%	44.6%	16.8%	2.7%
Q7	35.0%	50.3%	10.9%	3.8%
Q8	53.6%	38.3%	6.6%	1.6%
Q9	47.8%	42.3%	8.2%	1.6%
Q10	25.1%	51.4%	18.0%	5.5%
Q11	53.0%	42.6%	3.8%	0.5%
Q12	44.5%	39.0%	11.5%	4.9%
Q13	42.9%	46.7%	7.7%	2.7%
Q14	32.8%	24.0%	22.4%	20.8%
Q15	36.1%	36.1%	14.8%	13.1%
Q16	35.5%	33.9%	16.4%	14.2%
Q17	26.8%	47.0%	17.5%	8.7%

## 生徒アンケート結果より

質問項目ごとの「肯定的傾向」（肯定的・やや肯定的）の割合が合計して80%に達している項目が大多数を占めることから、生徒の学校生活に対する満足度の高さが感じられます。特に、質問項目1~3において数値が高いことから、授業における教師側の意図が十分に伝わった上で授業に取り組んでいることがわかります。しかし、一方で、一部の質問項目において「肯定的傾向」が60%以下という結果も見受けられました。これらの点を踏まえ、今後の改善に向けて以下のことについて取り組んで参ります。

### ○生徒の学習に対する自主性の向上を図る取り組み

質問項目4において、生徒の主體的な学習や自己学習への取り組みに関する評価が低いことが分かります。学校は、生徒の興味・関心を高め、さらに追求しようとする姿勢を生かすために学びの見通しを示すことで、生徒が目標に向かって自発的に学びに取り組むよう授業改善に努めていきます。

### ○読書に親しむ習慣の定着に向けて

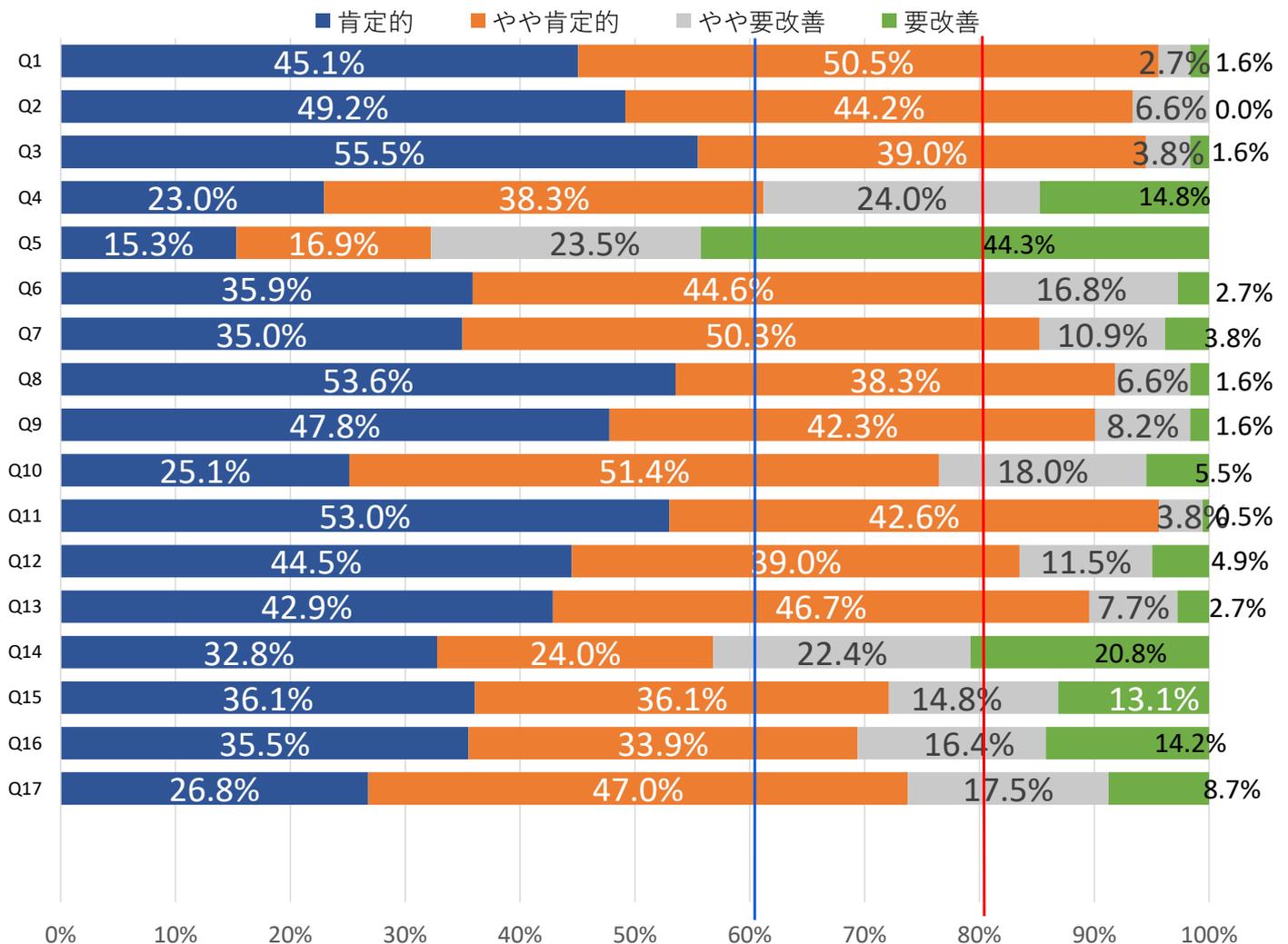
質問項目5において、読書習慣が定着しておらず、本に対する興味が薄いことがわかります。今年度から朝の読書活動を行っており、図書館司書による魅力的な図書館経営がなされ書籍も充実していますので、取組を継続して経過を観察していきます。

### ○1日あたりのインターネット閲覧・SNS使用時間についての課題

質問項目14において、1日の閲覧・使用時間が長いことがわかります。学びのツールとしての使用時間を含めていることもありますが、学校と家庭が連携したルールの確認も必要と感じています。

## 学校評価アンケート結果（対象：全学年生徒）

### 項目別回答割合



保護者回答合計（139）名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	26.8%	53.6%	14.5%	5.1%
Q2	66.9%	25.7%	7.4%	0.0%
Q3	21.3%	38.2%	31.6%	8.8%
Q4	13.9%	47.4%	29.2%	9.5%
Q5	27.0%	56.9%	13.9%	2.2%
Q6	21.9%	44.5%	27.0%	6.6%
Q7	35.3%	47.1%	14.0%	3.7%
Q8	15.2%	44.9%	29.0%	10.9%
Q9	13.1%	59.9%	21.9%	5.1%
Q10	17.5%	62.8%	15.3%	4.4%
Q11	24.1%	56.2%	16.8%	2.9%
Q12	43.8%	46.0%	8.0%	2.2%
Q13	16.2%	55.9%	25.0%	2.9%
Q14	24.1%	65.0%	9.5%	1.5%

保護者アンケート結果より

8つの質問項目で「肯定的傾向」（肯定的・やや肯定的）の割合が合計して80%に達していたことから、学校の多くの側面で保護者皆様から肯定的な評価を得ていることが示唆されました。これは学校の取り組みと成果が保護者の皆様にご理解されてきていることがわかります。しかし、一方で、3つの質問項目において「肯定的傾向」が60%前半という結果も見受けられました。これらの点を踏まえ、今後の改善に向けて以下のことについて取り組んで参ります。

○生徒の自主的な学習意欲の向上を図る取り組み

質問項目3において、生徒の主体的な学習や自己学習への取り組みに関する評価が低いことがわかります。学校は、生徒の興味・関心を高め、生徒自身が自発的に学びに取り組む意欲を促す授業ができるよう、授業改善に今後も継続して努めていきます。また、目標を自ら立て、その実現に向けて限りある時間を効率的に生活設計ができるように家庭と連携して指導してまいります。

○コミュニケーションと協力強化

質問項目4や8において、生徒と教師、保護者と学校間の困ったときの相談のしやすさなどコミュニケーションに対する、評価が低いことがわかります。学校は、対話の機会を増やすことで生徒にとって身近な存在に、日常の連絡やPTA行事等を通して保護者との信頼関係構築について、より開かれた存在となれるよう努力を重ねていきます。

学校は多くの側面で肯定的な評価を受けておりますが、改善が必要な点も明らかになっており、これらの改善点に対する取り組みを通じて、学校教育の更なる充実に向け、保護者の皆様とのコミュニケーションを深め、質の高い教育環境を提供し教育内容を充実するよう取り組んでまいります。

学校評価アンケート結果（対象：全学年保護者）

